



代表取締役 石原 保志

## 知行合一 ちこうごういつ

知識ではなく行動してこそはじめて“理解した”と言える

吉田松陰の座右の銘としても知られる「知行合一」。  
 知行合一の考えは、日々の小さな実践の積み重ねが、自分自身の成長  
 と信頼につながっていくことを教えてください。



みなさま、こんにちは  
 1年の計は 4 月にあり。「十日の菊、六日の菖蒲」で  
 はないですが、会社の売上目標や計画を立てる大切な  
 時期ですね。

そして同時に、社長自身の「ものの見方」を見直す  
 良い機会でもあります。

さて、「社長学」はご存じでしょうか? MBA のような経  
 営学やリーダー論ではなく、「社長としてどうあるべきか」  
 という生き方や、経営者の力量（ビジョン、利他心など）、  
 社長に必須の考え方を磨く学問です。

— なぜ「社長学」が必要なのか。

たとえば、目先の数字だけでなく、3 年後・5 年後の  
 姿を描く長期思考。今期の利益を優先して教育を後回  
 しにするのか、それとも将来の組織力を見据えて人材  
 に投資するのか。この判断の積み重ねが、数年後に大  
 きな差になります。

判断に迷ったときに立ち返る「何のためにこの会社があ  
 るのか」という根本思想も重要です。軸がある会社は、  
 環境が変わってもブレません。

また売上や効率だけでなく、現場の負担や顧客との  
 関係も含めて考える多面思考、指示ではなく自ら動く  
 内発思考もこれからの時代には欠かせません。

社員の主体性は、社長の姿勢に大きく影響されます。  
 加えて、自社だけでなく、社員や取引先、地域ととも  
 に成長していく共生思考。長く続く会社ほど、この視  
 点を大切にしています。そして最後に、「何を残すのか」  
 を考える死生観。この視点があると、日々の意思決定  
 に深みが生まれます。

ご存じの通り、激変と言っても良い社会情勢にある今、  
 何を基軸に判断していくかの選択が、会社の存続に  
 影響します。

お客様に価値を創造・提供し、社員のため、地域の  
 ために永続的に存続するには、なにより経営者自身が  
 「成長し続ける」必要があります。

新しい期の始まりの今、ご自身のものの見方、思考  
 力の深さや広さ、そしてそれを伝えるための言語化が  
 できているかを見つめ直してみたいかがでしょうか。



女性活躍推進

**えるぼし認定**

「えるぼし認定」とは女性の採用率向上、女性の管理職増加などの  
 取り組み状況が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度。

企業の人材確保や働きやすい職場づくりの中で、「女性  
 活躍」という言葉もすっかり身近になってきました。

その取り組みの一つとして注目されているのが、「えるぼ  
 し認定」です。この 4 月からは新たに女性の健康支援の  
 取り組みを評価する「えるぼしプラス」が加わりました。



えるぼし認定を受けるメリット

- ・イメージ向上につながる
- ・人材確保につながる
- ・公共調達、融資で優遇がある

**CHECK**

多様な人材が力を発揮  
 できる職場環境へ  
 (株)橋本組

長時間労働や現場勤務が多い建設業では、えるぼし取得のハードルが高いとされているが、  
 (株)橋本組は「えるぼし」の最上位を取得。女性比率 26%の実現や柔軟な勤務体制などの整  
 備を進め、建設業界における人材確保・定着の一つのモデルとして注目されています。

他人事ではない

# 新入社員の SNS 投稿による情報漏洩

## — “うっかり” が企業リスクになる時代 —



### 思わぬ一枚が、会社の信用を揺るがす

「入社しました!」

そんな何気ない SNS 投稿の一枚が、企業にとって大きなリスクになる時代です。

2026年4月、新社員による SNS 投稿をきっかけとした情報漏洩が相次いでいます。

社内資料やシフト表、社員証、PC画面などが写り込んだ写真が投稿され、意図せず機密情報が外部に公開されるケースなど、その多くは悪意ではありません。

「入社の日」「日常の共有」といった、ほんの軽い気持ちから生まれています。

しかし、一度拡散されてしまえば、企業の信用への影響は避けられません。

### 問題の本質は「うっかり」ではない

今回のポイントは、個人のモラルの問題ではないという点です。

- \* 悪意ではなく「うっかり型」の漏洩
- \* 写真やスクリーンショットによる情報露出
- \* 入社直後(教育が十分でない時期)に発生



つまり—

原因は個人ではなく、企業側の“仕組み不足”にあります。

### 企業にとっての現実的なリスク

SNS 投稿ひとつが、次のような影響を招きます。

- \* 機密情報・顧客情報の漏洩
- \* 取引先からの信用低下
- \* 炎上対応・謝罪対応にかかるコスト
- \* 契約解除や損害賠償の可能性



近年では、「教育をしていなかった企業側の責任」が問われるケースも増えています。

### 中小企業でも“明日からできる”対策

大がかりなシステムは必要ありません。

重要なのは、シンプルで具体的なルールづくりです。

#### 1 「写真NG例」を“写真で”見せる

社員証、PC画面、社内のホワイトボードなど、文章ではなく写真で示します。

#### 2 入社初日に“具体例”で伝える

- ×「SNSに気をつけてください」
- 「これを投稿するとアウトです」



- \* 社内で撮影してよいのか
- \* 名前や数字が写っていないか
- \* 業務内容が分かる情報が含まれていないか

判断基準を明確に伝えましょう。

#### 3 「社内は原則撮影禁止」にする

迷わせないルールが効果的です。原則禁止+例外許可制にするだけで、リスクは大きく下がります。



#### 4 私的ツールの業務利用をやめる

LINEや個人メールでの業務連絡は、管理できないリスクを生みます。

- \* 会社側でログを一元管理できない
- \* 退職時に履歴を回収できない
- \* 監査・トラブル時の証跡として使いづらい

問題は「記録が残らない」ことではなく、「会社の管理下に記録が残らない」ことです。

#### 【最低限のルール】

- \* 業務連絡は会社指定ツールのみ
- \* 個人アカウントの業務利用は禁止

## 5 管理者側の運用を統一する

【NG例】

- \* 上司がLINEで指示
- \* 資料を個人スマホで撮影

こうした行動は、すべて「正解」として新人に伝わります。まずは管理職の行動を揃えることが最優先です。

## 6 「月1回のリマインド」で定着させる

入社時の一度きりの教育では定着しません。朝礼や社内メルマガなどで、継続的な注意喚起を行いましょう。

今回の問題は「若手のモラル」ではなく、SNS時代に対応したルール設計の遅れです。特に中小企業ほど「暗黙の了解」や「現場任せ」が多く、リスクが放置されがちです。

## ✓ まとめ

- ・新入社員の情報漏洩は多発傾向
- ・原因は“うっかり”ではなく仕組みの問題
- ・最大のリスクは「写真投稿」
- ・対策はシンプルかつ明確に

## 💡 ワンポイント

「投稿していいか?」ではなく「写ってはいけないものは何か?」で考えること。



御社のルールは整っていますか?  
この機会に見直し、新入社員だけでなく、社内全体で共有していきましょう。  
トライプランニングではITリテラシー研修も承っております。  
お気軽にご相談ください!



## イベントのお知らせ

### 近日開催!

## 日産自動車 工場見学ツアー

日程決まり次第  
メルマガ等でお知らせ  
いたします

CHECK!



ものづくりの現場から、経営のヒントを!



日産横浜工場  
神奈川県横浜市神奈川区宝町2

近日開催予定のメンバーシップイベントは、国内を代表する自動車メーカーの日産自動車工場見学です。

日産自動車発祥の地、パワートレインを製造する横浜工場で、クルマの心臓であるエンジンが完成する様子を見学します。

普段なかなか見ることのできない実際の生産ラインを間近で見学し、品質管理や効率化の工夫、現場改善の取り組みなどに触れることで、「現場力」を支える仕組みや考え方を学び、日々の経営や自社の組織づくり・人材育成にも活かせる貴重な機会です。

現在日程調整中です。詳細決まり次第お知らせいたします。

## 2026年 メンバーシップイベント予定

9月

経営者の成功にコミット!  
世界で実証された組織づくりを学ぶ  
カール・パイザーが伝えるEOS実践セミナー



米国 MBA 取得。日米企業の豊富なプロジェクト経験を持ち、組織づくりと人材開発を得意とするビジネスコーチ、カール・パイザーさんのセミナーです。

10月

TP メンバーシップ杯  
ゴルフコンペ

青空の下で気持ちよくプレーを楽しみながら、リラックスした雰囲気でお交流できればと思います。「久しぶりにラウンドしたい」「ゴルフを通じてつながりを広げたい」そんなみなさまも大歓迎です!

予定が決まり次第、メルマガ等でお伝えいたします。今後のお知らせをお見逃しなく!!





ゴールデンウィーク  
なにをする？

# そうだ、読書しよう！



4月23日は「世界本の日」。出版や著作権に関する国際デーとして、ユネスコによって制定されています。

ゴールデンウィークも始まり、普段はなかなか読書の時間が取れないという方も、この機会に一冊手に取ってみてはいかがでしょうか。

とはいえ、「芥川賞や直木賞は知っているけれど、なんとなく手が伸びない…」という方も少なくないかもしれません。そんな方におすすめしたいのが「本屋大賞」です。

近所の本屋が減ったと感じている方も多いと思いますが、実際に書店数は減少傾向にあり、2025年末時点では約10,471店と、20年前の約3分の1にまで減少しています。

現在も、1日1店舗のペースで閉店が続いている状況です。そうした中、「店頭で活気を取り戻したい」という現場の書店員の想いから生まれたのが「本屋大賞」です。

全国の書店員が「いちばん売りたい本」に投票して決まるこの賞は、いわば本のプロである“営業パーソン”たちが選び抜いた一冊ともいえるでしょう。



Nice day!



没後110年  
日本画の革命児  
今村紫紅

4/25(土)-6/28(日) 横浜美術館



横浜フラワー＆  
ガーデンフェスティバル  
4/24(金)-5/10(日)  
横浜赤レンガ倉庫



ヨコハマ  
フリューリング  
フェスト2026

5/2(土)-5/4(月) パシフィコ横浜



三社祭  
5/15(金)-17日(日)  
浅草



4/14(火)-6/7(日)  
東京国立博物館

前田育徳会創立百周年記念  
特別展「百万石!加賀前田家」

さあ、前置きが長くなりましたが、  
2026年の本屋大賞は!!!

「イン・ザ・メガチャーチ」浅井リヨウ  
映画化もされた“桐島、部活やめるってよ”  
や、直木賞を受賞した“何者”など、一読  
された方も多いのでは。期待大!



- 1位:「イン・ザ・メガチャーチ」朝井リヨウ
- 2位:「熟柿」佐藤正午
- 3位:「PRIZE」村山由佳
- 4位:「エピクロスの処方箋」夏川章介
- 5位:「暁星」湊かなえ
- 6位:「殺し屋の営業術」野宮有

江戸川  
乱歩賞  
受賞作品

電子書籍で読書を楽しまれている方も多いと思いますが、この機会に、あえて紙の本を手にとってみるのもおすすめです。ページをめくる感覚とともに、ゆったりとした読書の時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

## トライプランニングだより



今年は“自他ともに認める雨女”が不在のおかげか(笑)当日は驚くほどの快晴に恵まれ、石原船長のお花見クルージングを思いきり満喫することができました。一方で、桜並木には例年より若い木もちらほら、世代交代の気配も感じました。来年は果たして“あの人”は参加するのか、それとも今年のような晴天が続くのか…、また次のお花見を心待ちにしたいと思います。